

徳島県の 災害 ケースマネジメントを どう進めていくか？



令和4年度
徳島大学地域交流シンポジウム

第3回



開催日時
2023.

2 / 23

[木・祝]
13:30~16:00

開催場所 徳島大学地域創生・国際交流会館5階
フューチャーセンターA.BA
徳島市南常三島町1丁目1番地

主催 徳島大学人と地域共創センター
徳島大学環境防災研究センター

共催 徳島県

近年、自然災害が毎年のように全国各地で発生し、生活再建が困難な被災者が多数発生しています。東日本大震災以降、被災者への支援方法として、“被災者一人ひとりに寄り添い、個別の被災の影響を把握することから支援計画を立て、施策をパッケージングし支援を実施していく仕組み”として「災害ケースマネジメント (DCM)」が注目されています。そうした中、徳島県では2022年6月にDCMを盛り込んだ条例改正を行い、国の手引書作成と並行して県の手引書作成を進めています。第3回目となる今回は、2016年熊本地震や2018年7月豪雨等、全国各地の被災自治体から業務委託を受けてDCMを実施して来たダイバーシティ研究所から、DCMの手法や手段について学び、徳島での実践について考えます。

講師プロフィール

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事
たむら たろう
田村 太郎 氏



タイムテーブル

司会・全体コーディネート
徳島大学人と地域共創センター 学術研究員 井若 和久

13:00 会場・受付

13:30 開催挨拶

徳島大学人と地域共創センター センター長 田中 俊夫

本日の趣旨・予定

13:40 第1部 講演

演題 「最近の被災者支援の課題と災害ケースマネジメントの進め方」

講師：一般財団法人ダイバーシティ研究所 田村 太郎 氏

14:30 第2部 グループワーク

テーマ 「災害ケースマネジメントの模擬体験と参加者から講師へのなんでも相談」

① 「災害ケースマネジメントのアセスメント調査と結果判定の模擬体験」

② 「災害ケースマネジメントに関する参加者から講師への疑問と講師からの回答」

講師：一般財団法人ダイバーシティ研究所 田村 太郎 氏

15:50 閉会挨拶

徳島大学環境防災研究センター センター長 上月 康則

阪神・淡路で被災した外国人への支援を機に多文化共生や災害支援、復興まちづくりの活動に従事。2007年に「ダイバーシティ研究所」を設立し、企業のCSRや自治体施策を通じた多様性配慮の取り組みをサポート。東日本大震災直後に内閣官房企画官となり、官民連携での被災地支援を担当。現在も復興庁・復興推進参与として東北復興に携わる。共著に「阪神大震災と外国人」「つないで支える」「企業と震災」「好きなまちで仕事をつくる」などがある。

会場 (徳島大学 常三島キャンパス)

申込期限：2月20日 (月)

申込方法：申し込みは次のアドレス、QRコードのいずれからエントリーが可能です。

<https://forms.gle/Rxgy97cafFhBbMeR9>

定員：50名 (先着順)

問合せ先：徳島大学・美波町地域づくりセンター [井若]

〒779-2103 徳島県海部郡美波町西の地字大谷48-1
(美波町由岐生活支援ハウス)

TEL&FAX：0884-70-1274 MAIL：tokushima-minami@tokushima-u.ac.jp



※会場前に駐車場もございます